



広報しやり

2006

9



主な内容

- ・ 知床世界自然遺産登録から1年。滞納額がさらに減っています。
- ・ 国民健康保険制度と老人保健制度が一部変わります。
- ・ 防災のこと、考えてみましょう。

人口 / 13,292人(- 3人)男6,529人(- 4人)女6,763人(+1人) 世帯 / 5,574世帯(+ 2世帯) 平成18年7月末現在

(表紙)『で愛 ふれ愛 たすけ愛』をテーマに開催された「ふれあいタウンしやり2006」。今年の参加者は1,500人でした。その中でも流しそうめんは大人気。(7月30日 於：ゆめホール知床)

知床

WORLD HERITAGE

世界自然遺産登録から1年。

昨年の7月17日、南アフリカ共和国ダーバン市で開催された第29回世界遺産委員会で「知床」は、正式に世界自然遺産に登録されました。あれから、1年……。町にはどんな影響があったのか。そして、今後、町の目指すべき姿とはどんなものなのか。それぞれの立場で、町長と観光協会長が語りました。



千来昌斜里町長

千来町長に聞く

——遺産登録から1年が過ぎました。

「あつと言う間の一年だった。そして、海域やエゾシカの問題、ダムのことなど、いろいろな課題が浮かび上がった一年でもあったが、一つ一つ関係機関が連携して取り組む下地ができた。また、観光客のマナーや駐車場の問題など、自然の生態系だけでなく、人間の受け入れをどうするか、という課題も明らかになった。実はこの課題が一番難

しいのかも知れない。具体的にはカムイワツカや知床五湖などの限られた場所が大混雑したが、現在行っているシャトルバスの運行など、今後はこれらを総合的に検証していく必要があると感じている。」

——遺産登録前と登録後で一番変わったと思うことは。

「大きく変わったのは、今まで、ばらばらで活動していたネイチャーガイドの皆さんが協議会を作り活動していることや、小型観光船の組織にも協議会ができたこと。それから、エコツーリズムでいえば、羅臼町と一体となった推進協議会ができた。今まで宙に浮いていた課題が遺産登録をキーワードに、まとまりをみせてきた。このことが非常に大きな成果だと思う。これからは、それぞれの団体がどのよ

うにして、知床らしさというものを訪れた観光客に伝え、感動を与えられるのか期待したい。つまりは、知床というものを大事にしていくという『意識』というものが登録前と登録後では全然違っているのではないかと思う。」

——知床を訪れる方へのメッセージは。

「知床は、世界を代表するエリアになった。国民として、道民として、町民として、知床を地元として捉え、責任をもって継承していかなければならない。そのために、知床を訪れる方にも、知床の保全は、自分たちには関係ないよ、というのではなくて、『自然の生態系の中で我々も生きているんだ、生かされているんだ。』ということを、しっかりと認識して欲しい。また、

格好にしても、その場所にふさわしいものにして欲しいと思う。驚いたのは、カムイワツカで、売店やコンビニがないのかと聞いてきた人がいたという。そういう意識の人は、正直もう来て欲しくない。そういう人が来ないように、事前にレクチャーを受け、相応の心構えで知床を訪れるという仕組みをつくりたい。」

——世界遺産の町として、今後、町が目指すべき姿とは。

「まず、町民の皆さんが、自分の町には世界自然遺産という貴重なエリアがあるんだということをもっと誇りに思える町づくりに取り組みたい。そして、大きなチャンスが生まれたと思うので、これを生かすのは、やはり、町民一人ひとりの志しにかかっていると思う。『世界遺産がなんだ。』ではなくて、先人から受け継いだ知床、そして、斜里というものを今日まで守ってきた努力の結果が、世界に認められたんだという自信と誇りをしっかりと持ち、未来に向かって歩き続ければ、斜里というのは、すごい町になるなと思うている。特に子どもたちに知床の価値観というものを暮らしの中から感じとってもらえるような仕組みを作り上げたい。重要なもの

やはり、次の時代を背負う子どもたちだ。子どもたちに大きな夢と希望を与えることができたというのは、町民へのものすごいプレゼントになつていくと思う。今の大人たちが、斜里町はこんなに凄いとこなんだぞ。ということを、いろんな形で子どもたちに伝える義務がある。そして、世界自然遺産をキーワードにして、自然と共に生きていることの大切さを身をもって感じるができる町にしなければならぬ。」

上野観光協会会長に聞く

——遺産登録から1年が過ぎました。

「やっぱり、世界遺産というのは、大変だなあー、という感じだね(笑)。周りが必要以上に期待をしている感じがする。それは、お客さまもそうだけど、行政からも感じてる。世界遺産だから観光協会は何をするんだという感じで。そういう過剰な反応に戸



上野 洋司
知床斜里町観光協会会長

惑いを感じる。自然遺産の登録のタイミングとしては、業界として、自然に対する考え方をいい意味で一回整理することができたと思っっている。知床観光としての新しいチャネルを明確に意識できるようになった。つまり、今までの流れに、さらに自然に対するいろいろな取り組みも観光業界として必要だということだ。それが、きちんとしたビジネスにつながればと思う。それに、北海道全体の観光の新しい形というものも非常に大きく前に進んだんじゃないか。従来の観光のスタイルの中で北海道の持っているポテンシャルをもっと全面に出して、新しい展開をしていくという流れができた。世界遺産が7月にあつて、その後ラムサール条約があつた。この流れが大きなベクトルを生んだと思う。」

——遺産登録前と登録後で一番変わったと思うことは。

「基本的には変わっていないと思う。なる前から変わることとは無いだろうとは思っていた。それは、自然遺産になつて初めて知床を知つたという人は、あまりいないだろうと思つたから。自然が好きなたちが観光で来る場合は知床を理解してくれている。ただ、

去年は、知床へはいつか行けばいい。としか思つてなくて、世界遺産になつたから行つてみようという人が増え、混乱を起こした。話題中心型で来た人たちが。知床の観光ポスターでも使われている、岬を上空から見た映像がテレビに数多く映し出されて、そのイメージが増幅されたのか、観光遊覧船も岬までの便がものすごく混み合つた。陸でもなるべく先端の方に行こうとするようになった。」

——知床を訪れる方へのメッセージは。

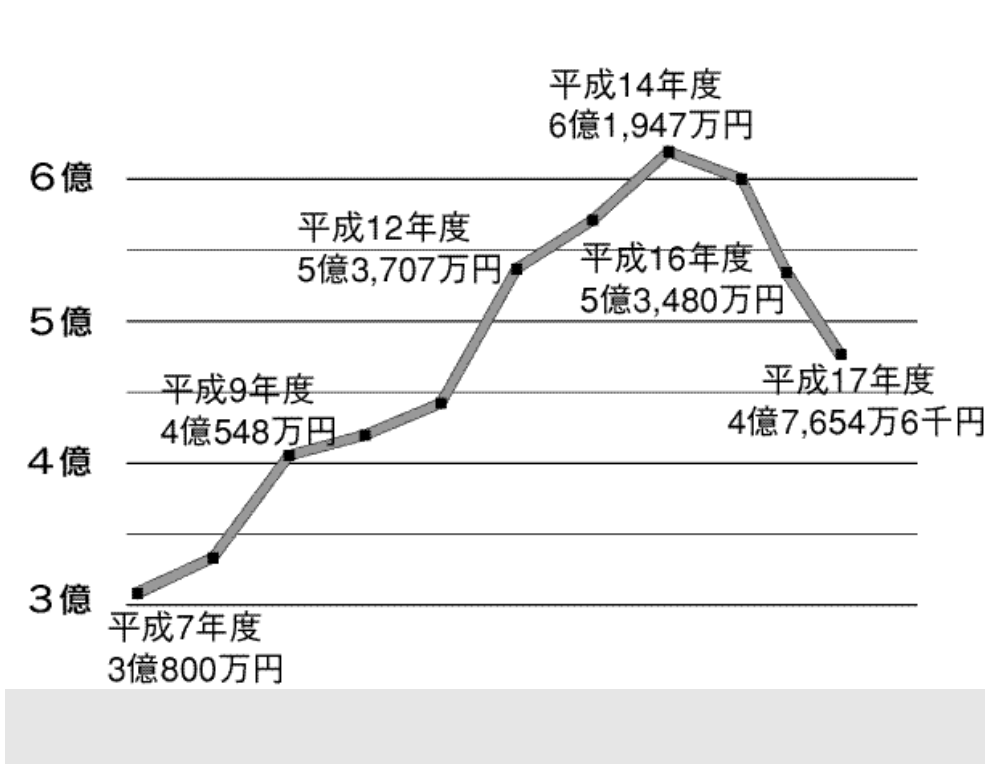
「そんなに何かを求めようとは思っていないんだけど、自然に対するマナーだけではなく、ごみなどを含めた一般的なマナー、基本的なルールを守ってもらえればいいと思う。知床だから必ずしも特別にこうして欲しいということはないが、自然に対する正しいものの考え方というものは持つて帰ってもらいたいと思う。自然保護とか環境保全というものを都会の人達も生活に取り入れてもらいたい。ここに来たときだけ自然を感じるのではなくて、都会生活の中でも考えてもらえればいいと思う。受け入れ側として現場では緊張感をもって自然

とのやり取りをしながら生活しているということを知つていただき、私たちに對する応援団になつてもらいたい。」

——観光協会としての今後の取り組みについて。

「観光関連事業者の経済的なユニオンが観光協会なわけだ、自然保護を経済行為にできる枠組みが必要だと思つている。今、ネイチャーガイドの人たちがたくさんのお客さまに接することが増えてきているが、自然を大事にしようという心を持つてお客さまを案内している。そういう人たちが、一年間きちんと生活できる環境をつくるのが、観光協会としての一つの目標である。それと、今後はいろいろなチャンスがあると思つていて、一つに漁業者、農業者とどうやってタッグを組むかということがある。お客さまは変化してきている。世界遺産だから変化していることもあつるが、それ以外でも変化している。それに合わせた新しい組み立てを考えなければいけないと思う。その中で自然をどうするか、食材をどうするかということだ。新しい展開を新しい流れの中で作つていこうと思う。今は転換期に来ている。」

町税等の滞納額が さらに減っています。



前年並みの収納率を維持しています

町税（町民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税等）の現年度分（平成17年度に新たに課税された分）の収入額は約16億4千566万円、収納率は97・6％となり、前年度から0・14ポイント下回りました。

国民健康保険料は約6億4千42万円、収納率は前年度を0・17ポイント上回る95・65％となり、収納率は5年連続の上昇となりました。

町営住宅使用料は約1億100万円、収納率は99・48％とほぼ前年度並みの高い収納率を確保できました。

水道料は約2億3千548万円で、収納率は97・68％、下水道使用料は、約1億6千890万円で収納率は97・79％となり、現年度分の収納率は、ほとんどの税・料で、ほぼ前年

夜間納税窓口・納税相談を行っています。

町税や各種使用料等の、夜間納税窓口を毎月最終月曜日に開設しています。時間は夜8時までです。日中、お忙しい方は、ぜひご利用ください。納税相談もお受けしますので、遠慮なくご相談ください。

今月は **9月25日**(月) です。

夜間納税窓口は、役場1階7番の税務課収納係で開設しています。正面玄関から入り、右手奥へお進みください。



並みとなったところです。

これらを含むすべての町税・料の現年度分収入の合計額は、約29億5千239万円と、9千万円ほど増加したものの、収納率は97・31％となり、前年度を0・07ポイント下回りました。しかし、平成18年度への滞納繰越額は前年度よりも約5千825万円少ない、4億7千654万6千334円と、大きく減少し、繰越額は3年連続で前の年度を下回る結果となりました。（上の折れ線グラフ参照）

差押え64件

平成17年度中に不動産や給与・預貯金などの差押えを行った件数は64件（平成16年度は88件）で、これにより収納

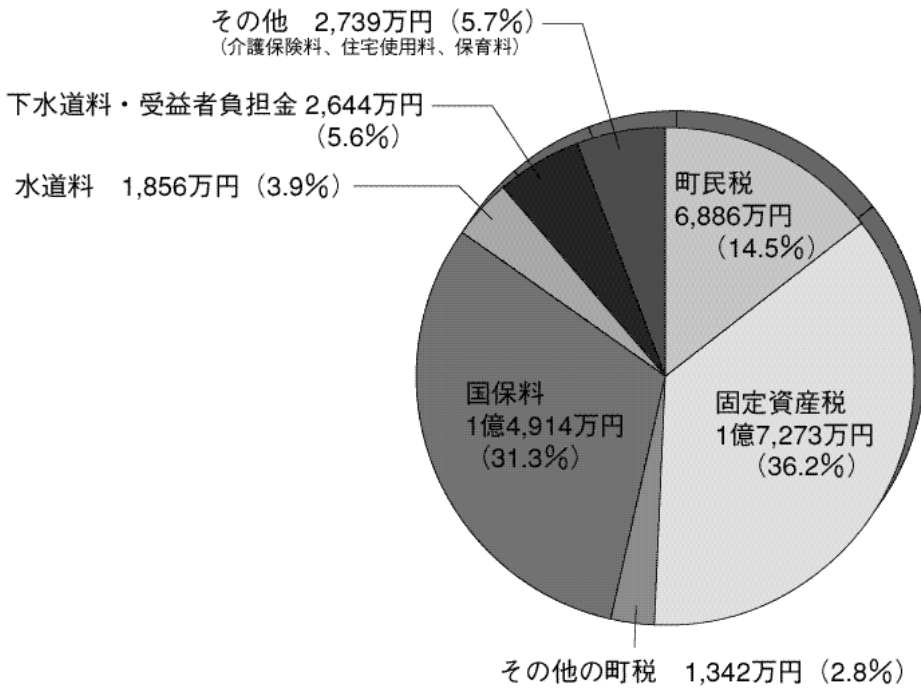
された金額は約839万円と、これまで以上に積極的に実施しました。

また、町営住宅使用料についてはは保証人への請求を、水道料については、納付に誠意のない滞納者に対してやむを得ず給水停止措置をとらせていただくなど、強い姿勢で臨んできました。また、その一方で、担税力のない方に対する滞納処分停止措置を適正に行いながら、滞納額の縮減に努めてきました。

その結果が、ここ3年間の滞納額の縮減につながったものです。

平成17年度末の
税・料の滞納額内訳

額 476,546,334 円



さらなる縮減
のために

町では、きちんと納税されている方との公平性を保ち、信頼を得るため、今後も引き続き、財産調査や差押えなどの措置を積極的に実施します。また、滞納額を減らすための新たな対応策についても

検討しながら、収納率の向上と、さらなる滞納額の縮減に努めます。

インターネット公売の実施間近！

これまで、公売が難しいとされていた、家電やカー用品、バイクなど軽自動車等の動産も、今話題となっているインターネット公売により、換価が容易になったことから、斜里町でも、テレビやパソコンなどの身近なものから、差押えの検討をしています。

納期内納付・口座振替の推進

税金は、自らが金融機関に納付する納期内自主納付が原則です。しかしながら、納税相談もない方や納税約束を履行されない方については、預金・給与・不動産・生命保険などを差押えます。督促状が届いたら、差押えになる前に、すぐに納付しましょう。また、うっかり忘れをしないために、口座振替にしましょう。

放置せずにご相談を

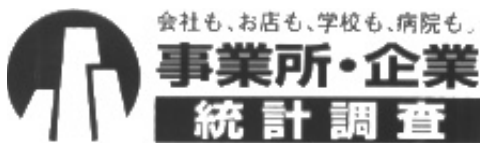
税務課収納係では、納税に関する相談を常時お受けしています。納期までに納めることができない町税等がありましたら、放置せずに必ず収納係にご相談ください。個人情報

報保護との関係から相談は、窓口にお越しください。町税等の納付に関する問合せ先 税務課収納係（内線 131・135）



うっかり納期を忘れる心配がない口座振替にしましょう。

平成18年10月1日実施



会社も、お店も、学校も、病院も。事業所・企業統計調査
この調査は、全国すべての事業所や企業が調査の対象です。事業所及び企業の産業、従業者規模等の基本的構造を明らかにする重要な統計調査です。
*9月下旬から、調査員が調査票を持って皆さまの事業所をお訪ねいたしますので、どうぞご協力ください。



総務省統計局 北海道 斜里町

斜里中心市街地における
工事のお知らせ

斜里中心市街地「への字」部分より知床斜里駅前付近の道道沿いにおいて、今後、道道拡幅に伴う物件の取り壊し工事やテナントミックス、情報交流センター等の新築される建物の建設工事、また、町道望洋通の改修工事が予定されております。

これらの工事に伴い、工事音や通行にご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、工事現場付近を通行の際は、警備員等の誘導により通行していただくよう、お願いいたします。

問合せ先 市街地整備推進室（内線 223・224・236）